

来年から消火器の値段が上がります

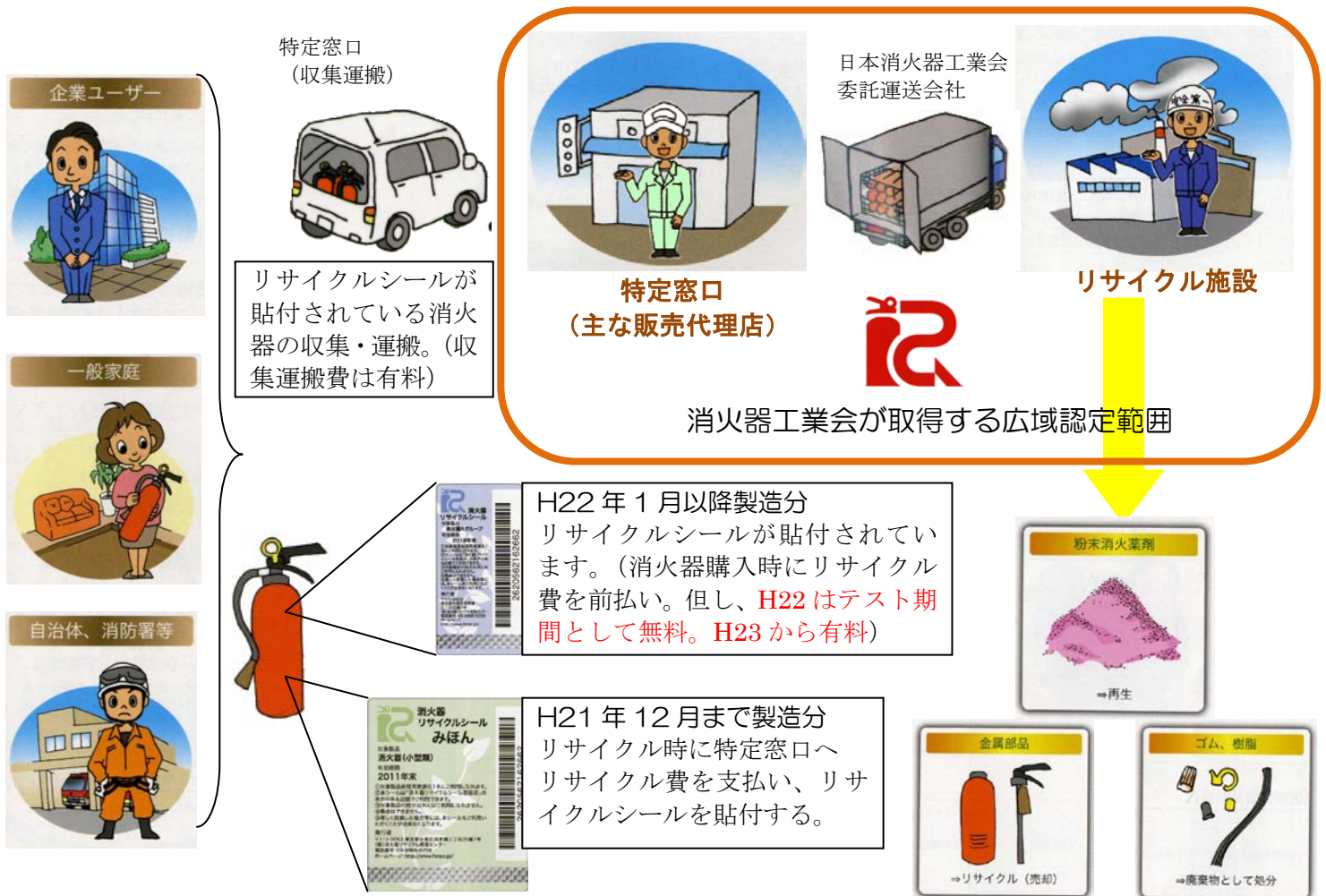
廃消火器リサイクルシステムのテスト期間終了(本年末)

本年1月より、廃消火器リサイクルシステムがスタートしており、リサイクルシールの貼付された消火器が出荷されています。リサイクルシールは、耐用年数が過ぎた消火器のリサイクル料金を前払いした証として貼付されていますので、消費者の方が廃棄される時は、特定窓口業者への収集運搬費を負担するだけで、リサイクル費はかからなくなります。但し、今年1年間は、テスト期間としてリサイクル料は無料で貼付されています。来年1月から廃消火器リサイクルシステムの本格運用が開始され、このリサイクル料が追加されるため消火器の実質的な価格が上がります。近々、消火器の更新を予定されている事業所様におかれましては、本年12月までに実施された方が、リサイクル料がお得になりますのでご案内申し上げます。

<<廃棄消火器リサイクルについて>>

廃棄消火器は、2000年度に政府によるミレニアム事業の【リサイクル・リユース技術の開発、導入】の項目に火災予防上必要不可欠であるものの適正な処理が困難とされていた消火器が取り上げられ、各メーカーにて消火器のリサイクルシステムができ実施されています。これは、産業廃棄物処理法による広域認定制度の特例を各メーカーが取得し運用されてきましたが、全国の販売代理店はこの特例の範囲の中には入っておらず、廃消火器の収集運搬がスムーズに行かず結果として、年間400万本製造されている消火器は、耐用年数を超えるなどしても回収率は5割にとどまる状態となっています。

そのようなことから各消火器メーカーが加盟している(社)日本消火器工業会が広域認定を取得し、その枠組みの中に全国の主な販売代理店が特定窓口として加わることにより、全国統一のシステムができ、本年1月より運用されています。



『消したかな』あなたを守る合言葉

秋の火災予防運動（H22.11.9.～11.15.）

平成 22 年秋の火災予防運動重点目標（消防庁 9 月 15 日）

（1）住宅防火対策の推進

- 住宅用火災警報器の設置推進
- 住宅用消火器をはじめとした住宅用防災機器等の普及促進
- たばこ火災に係る注意喚起

（2）放火火災・連続放火火災防止対策の推進

- 「放火火災防止対策戦略プラン」を活用した放火火災に対する地域の対応力の向上
- パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
- 放火火災・連続放火火災による被害の軽減対策の実施

（3）特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

- 防火管理体制の充実
- 避難施設等及び消防用設備等の維持管理の徹底
- 防災物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
- 防火対象物定期点検報告制度の周知徹底
- 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
- 高齢者や障害者等が入居する施設における防火安全対策の徹底

（4）製品火災の発生防止に向けた取組の推進

- 製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底



ポスターモデル：忽那 汐里 さん



『秋』